

駒大 3(3-1)2 青学大
(4位・25) (10位・14)

得点者(アシスト)

【駒】 11分:三島(塚本)
【青】 18分:宮川(田坂)
【駒】 24分:八角
【駒】 44分:菊地(塚本)
【青】 77分:関野(中村)

KOMAZAWA

GK①山内達夫(4)
DF⑦塚本泰史(4)
DF②中山友規(2)
DF⑤伊藤 龍(2)
DF⑥湯川貴嗣(4)
MF④菊地光将(4)
MF③田谷高浩(4)
MF③鈴木寿毅(3)
(89分)⑨山崎健太(2)
MF⑥八角剛史(4)
FW⑩東平大佑(4)
(70分)⑬島田祐輝(3)
FW⑫三島康平(2)

AOYAMA

GK⑫石川 祐(3)
DF⑤川鍋良祐(4)
DF④嶋田将利(3)
DF③吉田周太(2)
(55分)③松井 直(4)
DF②武田英二郎(1)
(71分)①伊藤謙介(4)
MF②奈良林寛紀(2)
MF⑧下地 奨(4)
MF⑥藤澤翔太(3)
MF⑩田坂祐介(4)
FW⑨関野達也(3)
FW⑧宮川貴年(3)
(75分)⑦中村祐人(3)

S U B

GK②岡 大生(1)
DF②金 正也(1)
MF②田村貴之(3)
MF③佐藤涼介(3)
FW⑨榊原浩一郎(4)

MANAGER

秋田浩一

S U B

GK②荒巻洋嗣(1)
DF②金澤真吾(1)
MF②村杉聡史(1)
FW⑬加藤 健(3)

MANAGER

田口知博

警告(C)/退場(S)

【駒】 32分:八角剛史(C)、79分:島田祐輝(C)
【青】 44分:武田英二郎(C)、後:中村祐人(C)

[シュート]10:12[GK]8:15[CK]10:6 [直接FK]17:22
[間接FK]0:5[主審] 田中岳郎[観衆]約320人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。



八角のゴールが引き寄せた初勝利!

KOMAZAWA 3 X 2 AOYAMA



相手ボールを粘って奪い、シュート

前半24分、相手のボールを奪い、勝ち越しゴールとなるシュートを放つ八角 (撮影・中野成博)



気持ちで掴んだ勝利

今日の一番の勝因は、と聞かれ、「気持ちです」キャプテンの八角は即答した。八角だけではない、選手は試合後、口々にそう言った。後期リーグ初戦の中大には逆転負けを喫し、前節の筑波大戦では引き分けた。内容は二の次、相手どうこうでもない、とにかく勝ち点3が欲しかった。試合は序盤から動いた。2分にCKから三島が相手DFに引っ張られながらも、ヘディングで押し込み先制する。前節に引き続き、高崎の出場停止で巡ってきたスタメン出場のチャンス。「今日こそやってみよう」と思っていた。「と意気込んだ試合で意地を見せた。その後、CKからあっさりと同点に追いつかれるが、それに怯まず駒大もすぐに反撃。24分に高い位置でボールを奪った八角から放たれたミドルシュートは、ゴールネットに吸い込まれた。駒大らしい、気持ちの入った得点だった。「あれで結構流れがこつちにきたかなって感じてました」と田谷が振り返るように、勢いを増したチームは、前半ロスタイムにもFKから菊地がヘディング

で叩き込み加点了。後半に入っても尚、流れを掴んではいませんが、チャンスを決めきれずにいると徐々に青学大にその流れは傾いていった。33分にはカウンターから失点。終了間際、3分間のロスタイムの間には応援席からは悲鳴が聞こえるほどの猛攻を何度も食らった。それでも全員で守り抜いた。

試合終了を告げるホイッスルの瞬間、その悲鳴は歓声となった。「応援もいっぱいしてくれたし、そういうのを感じながら試合できた。今日は全員で戦ったなって感じですよ」(八角)。「ピッチに立てなくても、同じ気持ちを持った、勝利を祈る選手達がいるからこそ掴んだ勝利でもあった。リーグ再開後3試合連続の失点の守備陣にも、終盤の決定力不足の攻撃陣にも不安は残る。しかし、「内容より白星の方が子供たちには葉になる。この勝ちに前向きになればいい」と秋田監督は語る。

公式戦約2ヶ月ぶりとなる勝利という結果をチーム全員の気持ちで掴み、次の戦いへと弾みをつけた。

(上瀬悠平)